

【めざす学校像】

- 「笑顔あふれる『一人一人が主役の学校』」の創造
- 子供が学ぶことを楽しいと思える学校
 - 教職員がやりがい生きがいを感じる学校
 - 保護者が信頼して我が子を通わせたい学校
 - 地域に愛され地域と共に成長できる学校

【学校教育目標：めざす児童像】

- ・自ら学ぶ子
- ・思いやりのある子
- ・たくましい子
- ・自分のよさを伸ばす子

【学校経営方針】

- これからの社会を創り出していく子供たちが、社会や世界に向き合い関わり自らの人生を切り拓（ひら）いていくために求められることを、社会背景、地域、家庭の環境、児童の実態や発達段階を踏まえ、「開かれた教育課程」を作成し、「知」「徳」「体」の具体的な目標を設定し、検証と改善を行いながら学校経営を行う。
- 学校は地域のコミュニティの要である。学校を通して、児童や保護者、地域とのつながりを広げたり深めたりする。児童・保護者・地域の思いに寄り添い、保護者や地域との連携を大切にして学校経営を行う。
- 教育目標を達成するために、教師の指導力向上を目指す。職層や経験に応じたOJTを実施するとともに、研修会、研究会への参加を奨励し、教師の専門性の向上を図り、教師一人一人の個性や持ち味を児童の指導に生かしていく。また、年間を通して校内研究会、研修会を実施する

【金曾木小学校の教師像】

〈1〉組織人として積極的に連携・協働し成果をあげる。

○全員体制で取り組む

決まったことは、全員で共有し、足並みを揃えて実行する。

「よい習慣」をめざした同一歩調

- ・「金曾木生活スタンダード『5つのあ』」の徹底
- ・不登校の未然防止、いじめの早期発見、週目標の指導

○同僚性 人とのつながりを大切に

積極的に仲間とかかわる（自分事として考える）

- ・横のつながり：同学年、学級間の指導の共有
- ・縦のつながり：異学年、各職層との情報共有

○キャリアプランを考える（5・10年後の自身の姿）

- ・自己申告によるPCDA、管理職との面談。
- ・主幹教諭、主任教諭、学年主任の学校経営へ参画意識向上

○心身の健康・やりがい・満足感

- ・働き方改革（校務改善により子供たちのと時間を増やす）
- ・努力の成果を目に見える形で共有する。

〈2〉質の高い教育を目指す

○保護者・地域のニーズは何かを考える

- ・PTA活動、地域行事に積極的に参加する。
- ・行事後のアンケート、学校評価（アンケート）の実施

○学校の見える化

・各種おたより、HP、授業公開、個人面談、保護者会、掲示物

○信頼関係を大切に

- ・一人一人を大切に、児童の実態に応じた指導をする。
- ・保護者と指導の共有を図っていく。

○地域の歴史・文化を知る・楽しむ・生かす

○日々の自己研鑽（研究会、研究会へ積極的な参加）

- ・年間を通して、道徳の指導法の研究を行う。（相互授業観察）
- ・OJTの充実（校内研修計画の作成、実行・プログラミング）

〈3〉人権感覚が高く、サービスに対する厳正な態度

◎サービス事故防止・人権感覚 チェックリストの活用

- ・公教育に携わる者としての自覚（サービス事故の代償の大きさ）
- ・体罰・不適切な指導の根絶（プロの教育者としての冷静さ）
- ・個人情報の管理の徹底（電子データ、紙の管理、机上整理）

・人権感覚を磨く ■人権教育プログラムの活用

・教師は「環境」である 呼び捨て× 「さん」付け

・報告・連絡・相談／記録を取る。

※整理整頓：机上整理、共有場所や共有物こそ大切に扱う。

※互いに、注意できる関係を築く。（事故の未然防止）

【確かな学力の育成】

◎「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進

- ・子供が興味関心をもって問題を解決し、わかったと実感できる授業展開をする。

1) 計画的&共通指導による学力向上の基盤をつくる。

- ・学習の基盤をつくる活動の充実を図る

2) 自学の習慣化を図る。

東京ベーシックドリル・タブレットPCによる反復学習・家庭学習

3) 読書の習慣化を図る。

読書週間・ヨムヨムタイム 学校図書館の活用

4) タブレット端末等のICT機器を効果的活用した指導

【豊かな心の涵養】

◎道徳性を養い、いじめや偏見差別をなくそうとする態度を育てる。

- ・指導方法を工夫した道徳教育の充実を図る

5) 多面的・多角的に考え、議論する授業を展開し「特別の教科道徳」の充実を図る。

6) 「金曾木生活スタンダード」5つの「あ」を徹底し、規範意識を育てる。

- ・自他を大切に

7) 個に応じた指導大切に、信頼関係を築きながら、自己肯定感を高める。

8) いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める。

□「いじめ防止教育プログラム」

9) 幼保こ中との連携とたてわり班活動の充実を図る。

【健やかな体の育成】

◎よりよい生活習慣と、健康・体力の保持増進に努める児童を育成する。

- ・基本的な生活習慣の確立を図る

10) 「早寝早起き朝ごはん」の習慣化し、規則正しい生活習慣を確立する。

- ・オリンピック・パラリンピック教育を推進する

11) 体育の授業やオリンピックの学習を通して、自分の目標に向かって努力する態度を身に付ける。

12) 運動集会の充実とチャレンジタイムと外遊びの推奨を通しての「運動の習慣化」を定着する。

・短縄週間

・大縄週間

・ジョギング週間

【社会に開かれた

教育課程の実現】

◎内外に開かれた、安心・安全を最優先した学びの環境を整える。

- ・積極的に情報を発信して家庭や地域の一体化を図る

13) 外部人材や地域教材・地域施設（上野の森）を積極的に活用・開発し、郷土愛・高いこころざしを育成する。

14) 学校理解につながる教育内容・情報を可視化・発信（授業公開・各種おたより・学校HP・ツイタもん・掲示物・電話連絡等）し、PTA、学校運営協議会と連携する。